

4 カラフルで楽しい文房具を揃える！

7
モノすごい
文房具カタログ

10 ペン 14 万年筆 16 蛍光ペン 18 ノート 20 マーカー
26 鉛筆 28 マジメモ 30 ハサミ 32 ピンクリップ 34 附箋
36 定規 42 シャープペンシル 44 消しゴム 46 ホッチキス
48 セキュリティ 50 アイデアメモ

55
こだわりの文房具アラカルト

56 大人のための子供文房具 58 デザイン文房具 60 プロフェッショナル仕様文房具
62 面白ネーミング文房具 64 子ども文房具 68 ロングセラー文房具
72 コンパクト文房具 74 女子文房具 76 ユニーク文房具 78 ユニバーサル文房具
82 トランスフォーム文房具 84 カード型文房具

いろんな職業のモノすごい文房具拝見

22 お笑い芸人の場合／鉄拳
38 映像ディレクターの場合／河森正治
52 週刊誌記者の場合／週刊新潮記者
66 建築デザイナーの場合／筏真司
80 アイドルの場合／さくら学院

モノすごい文房具ヒストリー

8 シャーボ物語
24 アーム筆入れ物語
40 フリクション物語

54 恋文のススメ
86 文房具が伝える力 文・挿絵／高山宗東

88 世界の筆記具ペンハウス
86 パーカーインジェニュイティ

90
モノすごい文房具店探訪

91 アシストオン原宿店
92 銀座・伊東屋
93 無印良品 有楽町
94 アッシュコンセプト【KONCENTショップ】
95 トラベラーズ・ファクトリー

1977年に生まれた名文具

18金のゴージャスな
シャーボも登場！

今だにファンが多い
初代シャーボ！

昭和54年に登場した「うるしゴールド」は8000円、「うるし」は5000円。多彩な色調でリリースされ、繊細なマーブルのような柄が女性にもアピールした。

うるし仕上げで
和の高級感！

デビュー翌年の昭和55年、ゴールドが1万5000円、シルバーが1万2000円で発売されて大人の筆記具としてステイタスを堅固にする。「ジェミックス」は「双子座」の意味で「シャーボ」に決定以前のネーミング候補でもあった。

らせん状に紋様が刻まれたエッチング仕上げなどアンティークテイスト、シンプルで使う人を選ばないカラーなモデルなどデザインの拡充は止まらない。時計付のシャーボもあった！

大人のステイタスとして
贈答品の定番に！



従来の万年筆に匹敵する改まった機会の記念品や贈答品としても定番となったシャーボ。長年使ったモデルをオーバーホールするユーザーも多く、持つ人の伴侶となっている。

現代にも続く傑作の系譜



「シャーボX」は、「シャープペン」+「ボールペン」と3種類のペンを組み合わせて自分だけのMYシャーボが作れる。シャーボは太さ3種類、ボールペンは油性とゲルを合わせて全17色。価格は組み合わせ次第だが3千円台後半。



先端の優美な曲線は滑らかな切り替えの必然から生まれた。シャーボのカッコよさと機構には子供も憧れて、父親のシャーボを学校で見せびらかしたり、分解して怒られたものだ。

実に意外なところにあった。「2B」という弊社の高級志向のクロマティック式2色ボールペンは、ボディを中央で分割した設計でした。ところが、接合部にスキマが発生してガタが出る不良ロットが続出していたんですね。しかし「ボディのスキマをスライドさせればノックが可能だ！」と私は思いついたんです。だが、3000円の高級品である。詰めの設計は妥協を許されなかった。

「ボールペン状態でシャープペンのノック機構がガタつく」と高級感に欠けるため、固定するカムを組み込むなど細部まで磨きました。CADのない時代ですから、作動プロセスをアニメーションのコマのような大量の図面に起こして確認せねばならなかった。そしてボディをスライドさせてノックする際に手を挟まないよう、上部が被るオーバーキャップ型のデザインを採用しました。

のアピールが命題のシャーボは「1万〜2万本が売れば成功」と見られていたところが、4カ月で80万本の大ヒットとなる。「私たちが組立を手伝いました。ラインの終わりで営業担当が待っていて、組んだ傍から次々に持っていくんです。残業、残業だった開発の苦労も吹っ飛んで、心の底から嬉しかったですね」平成19年には、外山さん曰く「高級車のように心地よい滑らかな作動感の「シャーボX」が登場。大人を満足させる複合筆記具という高いポリシーは、発売35年の今も揺らぐことはない。

©ゼブラ お客様相談室 0120-555335 <http://www.zebra.co.jp/>

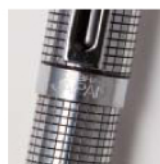
SHARBO

「スキマ」という機構のヒントも意外なら、ネーミングの成り立ちも意外。「シャボール」に決定したと告げる社長の電話を代理店担当者が「シャーボ」と聞き間違えて、なんとそのまま決定。端的でインパクトのある造語として世間に受け入れられたのだ。

スキマが生んだ稀代の名作



回すと滑らかなクリック感とともに、シャープペンシルとボールペン、それぞれの芯が確実に顔を出す。斬新で革命的だった。



「スキマ」から生まれたノック機構を象徴するオーバーキャップ部。全体のフォルムに二段ロケットのような機能美を与えている。

「発売まで約3カ月は決定事項でした」。ゼブラ「シャープ」の開発の中心メンバーで、現在も研究部研究開発課で機構畑一筋の外山松平さんは振り返る。

油性フェルトペンの「ハイマツキ」など100円前後の商品が主流で上層部は中高価格帯のカテゴリーへ切り込みもしていました。一本二役で付加価値の高い新製品の価格は、社長判断で「3000円」。平均年

ゼブラ株式会社 研究部研究開発課 外山松平さん
シャーボ開発4年前の新人時代、両腕式のシャープペンとボールペンの二役ペンを提案して機構の才を認められた。妥協なきプロの志で高級志向の滑らかな回転機構を大成功させる。

シャーボを作った男!!



「シャーボといえば「右に回すとシャープペンシル、左に回すとボールペン」で知られていますが、それは従来あった回転式の2色ボールペン、つまりクロマティック式のボールペンの機構の応用です。しかし、クロマティック式でシャープペンシルを組み込むとなると、従来のシャープペンシルのようにヘッドをノックする機構は不可能です。新しいノック機構がメンバーの課題でした。そして、ヒントは

「右へ回すとシャープペンシル、左へ回すとボールペン」。名優・小松方正の深みあるCMナレーションが、今も耳の底に残る。「欲しい！」「触りたい！」と当時の大人も子供も憧れて大ヒットしたゼブラ「シャーボ」。発売35年を迎えて、当時の開発メンバーが、常識を覆した意外な機構のヒントと大人の高級文具として磨き上げたプロセスを語る。

文/友井健人 写真/熊登久(W.P.P.) 資料提供/ゼブラ

「シャーボは右へ回すとシャープペンシル、左へ回すとボールペン。おどろき、納得。もう一度、感激。シャーボは、贈り物に最適です。」

シャーボ物語

優れたペンは、ビジネスを支える強い味方

氷点下でも
無重力でも
書ける！

書類作成のためのラフを書いたり、電話で話しながらメモをとったり、ひらめいたアイデアを書きとめておいたり、デジタル時代といえども、ビジネスシーンでペンが果たす役割は依然として大きい。パソコンにもスマホにもない手書きの利便性に対するニーズは、時代がどう変化しようとも変わることがないのである。だからこそ、しっかり押さえておきたいポイントがある。自分にとって使いやすい、優れたペンを意識的に選ぶということだ。「ペンなんかなんでもいい」と、たまたま近くに転がっていたペンを使ってしまうというのにはありがちな話。もちろんそれでも必要最低限のことはできるだろうが、ニーズや好みに見合ったペンを選んでは、作業効率は確実にアップする。極寒の地や、雨の日の取材など目的に応じて、使いやすいペンを用意しておく。

三菱鉛筆／パワータンク スタンダード
価格210円
☎三菱鉛筆 ☎0120-321433
<http://www.mpuni.co.jp/>

かすれたり線切れしたりしない書き味の秘密は、リフィール内の圧縮空気の圧力によってインクを押し出す独特の構造。水に濡れた紙や氷点下の環境でも、あるいは無重力状態の宇宙でも(!)、高密度でくっきりと濃い描線を書ける。

水性なのに
消えにくい



パイロット／マルチボール
価格105円
☎パイロット ☎03-3538-3700
<http://www.pilot.co.jp/>

新開発のMインキが、滑らかではっきりとした書き味を実現。紙はもちろんのこと、ガラスにも金属にもプラスチックにも書ける、その名の通りのマルチな水性ボールペンだ。事務作業からプレートなどへの書き込みまで、幅広く対応する。

立ち仕事で
威力を発揮



トンボ鉛筆／エアプレス エプロ
価格399円
☎トンボ鉛筆 ☎0120-834198
<http://www.tombow.com/>

大型クリップでエプロンなどにためておいて、必要なときサッと使える油性ボールペン。ノックのたびに加圧空気を作ってインクを押し出すので、「上向き筆記」「濡った紙」など、立ち仕事にありがちな筆記トラブルを解消してくれる。

シダー軸の
自然派ペン



三菱鉛筆／ウッドノート
価格294円
☎三菱鉛筆 ☎0120-321433
<http://www.mpuni.co.jp/>

計画植林されている北米産インセンシダーを軸に採用した、スタイリッシュなキャップ式ゲルインクボールペン。カラフルなキャップもいいアクセントだ。にじみにくく発色のよいゲルインクが、しっかりした書き味を実現する。

油性と水性の
持ち味を融合



ゼブラ／スラリ
価格105円
☎ゼブラ お客様相談室 ☎0120-555335
<http://www.zebra.co.jp/>

油性ならではの安定感と水性の持つ軽快さをミックスさせたエマルジョンインクを、世界で初めてボールペンに搭載。従来にはなかった?滑らかな書き味と、濃く鮮やかな筆跡線を実現してくれる。書類作成時などに適した使い心地だ。

世界
初！



ぺんてる／ビクーニャ 0.7mm
価格157円
☎ぺんてる ☎0120-12-8133
<http://www.pentel.co.jp/>

従来の油性ボールペンにはない滑らかさを生み出すビクーニャインキを採用。超低粘度なのに、濃く艶のある鮮やかな色合いを生み出す。また新開発の潤滑剤がペン先のボールの回転をスムーズにし、紙との筆記抵抗値を低減する。

圧力で
押し出す！



パイロット／ノック加圧ボールペン ダウンフォース
価格420円
☎パイロット ☎03-3538-3700
<http://www.pilot.co.jp/>

ノックすることでインキ後部の空気が圧縮されるため、その圧力によってインキが押しつけられる「ノック加圧メカニズム」を採用。上向きに書いてもインキが逆流することはない。加えてクリップ部分は、10万回挟んでも壊れない強度！



大人のための子ども文房具で本気を出すべし！

スタビロ/イージーオリジナル ローラーボールペン
価格1260円 問エトランジェ ディ コスタリカ ☎084-981-1644 <http://www.stabilo.jp/>

右手用と左手用が用意された、人間工学に基づく設計。疲労軽減ソフトグリップは疲れを軽減するだけでなく、子どもが正しい持ち方をおぼえるための矯正ペンとしても有効だ。ローラーボールが入ったペン先が、万年筆に似た書き味を生む。



悪G堂/大人のランドセル
価格11万5500円
問WCYAN/悪G堂☎03-6240-1893 <http://akujidou.com/>

文字どおり、大人のために本気で作られたランドセル。本来のフォルムを活かし、贅沢に使われたスタッズで高級感を演出している。完成まで3ヶ月以上かかる受注生産だが、待つだけの価値は大アリ。愛着が深まること間違いなしだ。

マルマン/図案スケッチブック

One day
価格B4:840円、B6:420円
問マルマン お客様相談室
☎03-5925-6155

<http://www.e-maruman.co.jp/>
画用紙全24枚に、それぞれ異なる抽象的なイラストが薄いグレーで印刷されているスケッチブック。最低限のイラストをヒントとして、子どもが想像力を働かせながら絵を描き進められるというわけだ。親子の会話もきっと弾むはず。



パイロット/ベチット2
価格157円
問パイロット☎03-3538-3700
<http://www.pilot.co.jp/>

ペン先とカラーを自由に選べるベチット、これはそのサインペンタイプだ。全8色のなかから、好みのカラーをチョイス可能。カートリッジインキも簡単に装着できるので、ササッと書けるサインペンの快適性を思う存分楽しめる。

centropen/
MARS万年筆
価格1365円
問フライハイト
☎03-3401-2050
<http://www.freiheit-net.com>

チェコの老舗文房具メーカーによる、カラフルな子ども用万年筆。とはいえ高級万年筆に使われるイリジウム製のペン先を使用している本格派で、書き心地も申し分なし。握りやすさを意識したグリップ部の窪みなど、細かな配慮もうれしい。



サクラクレパス/暗記用スタディペン
価格210円
問サクラクレパス お客様相談室☎06-6910-8818 <http://www.craypas.com/>

答えを書き込んだ場所に赤シートを被せると答えが隠れる、まさに暗記するための便利なペン。しかもおぼえた部分や間違えた箇所は、簡単に消しゴムで消すことができるので、教科書や参考書、ノートをきれいに保つことができる。

い まさら強調する必要もないかもしれないが、文房具は大人の心を強く刺激する。特に大人の男にとって、文房具には形勢しがたい魅力があるといえるだろう。そして、魅力を感じさせるポイントもさまざまである。ひょっとしたら最優先されるのは形状や色彩、あるいは「所有したい」「眺めていたい」というような気持ちで、現実的な使いやすさはその次にくるかもしれない。いってみれば、知的好奇心を微妙にくすぐるおもちゃとしての魅力が文房具には備わっているのだ。だとしたら、いっそ開きなあってその魅力を謳歌してしまってもいいか？ だろうか？ エキセントリックなかたちをテーマに、あるいは色を楽しむために、ひたすらペンをコレクションするとか、息子や娘と一緒に絵を描いて、本気で童心に返ってみるとか。本気度合いがそれ以上に高まったなら、大人仕様のゴージャスなランドセルをオーダーメイドしてしまうという荒技もある。要は本気で楽しむことが重要で、遠慮や妥協は禁物なのだ。やるならとことん、童心に戻ってしまおう。

Editor & Publisher

今井今朝春
Kesaharu Imai

Cover Design

若山トシオ (フェイヴァリット・グラフィックス)
Toshio Wakayama(favorite graphics)

Design

フェイヴァリット・グラフィックス
favorite graphics

Editor

大谷 暁
Satoru Otani

小川太市
Taichi Ogawa

Staff Photographer

堤 長則
Naganori Tsutsumi

熊谷義久
Yoshihisa Kumagai

油科康司
Yasuji Yushina

鶴田智昭
Tomoaki Tsuruda

青木健格
Takenori Aoki

宮坂政邦
Masakuni Miyasaka

Advertising Director

坪井一雄
Kazuo Tsuboi

Advertising Manager

木内克佳
Katsuyoshi Kiuchi

荒川幸市
Kouichi Arakawa

Production Director

小川俊介
Shunsuke Ogawa

Circulation Manager

笹川裕史
Hiroshi Sasagawa

Print

Dai Nippon Printing Co., Ltd.

DTP

Base

Correspondents, Washington, D.C. Bureau

(Pictorial Press International)

Norman T.Hatch

Mikako Burks

ワールドフォトプレス ホームページ

http://www.monomagazine.com



モノすごい編集部(笑)がイチ押しするのはズバリ、このミドリ「CLステーションナリーキット」。ゲーム機のDSとほぼ同サイズのため、携帯性は抜群。老若男女を問わずにカバンの中に忍ばせておきたい文房具の名品だ！ ポップなカラーリングも超目立つこと間違いナシだ！

WORLD M O O K

ワールド・ムック917(通巻917号)

平成24年5月25日発行

mono 雑誌編集部

モノすごい文房具

編集・発行人●今井今朝春

発行所●株式会社ワールドフォトプレス

〒164-8551 東京都中野区中野3-39-2

TEL:03(5385)5666[編集部]

03(5385)5701[販売部]

03(5385)1350[広告営業部]

FAX:03(5385)5617[編集部]

03(5385)5703[販売部]

03(5385)1348[広告営業部]

印刷所●大日本印刷株式会社

© WORLD PHOTO PRESS 2012

造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁などの不良品がございましたら販売部あてにお送りください。送料弊社負担にてお取り換えいたします。本誌掲載記事の無断複製転写を禁じます。

弊社出版物のお申し込みはインターネットをご利用いただけます。http://www.monomagazine.com

●本誌に掲載されている商品情報は平成24年4月5日現在の調べによるものです。品切の場合はご容赦ください。また文中の価格はすべて消費税込みの総額表示です。